



令和元年 10月19日(土)
13:30~15:00

第4回アセアン講座

黄金の国ミャンマーの “おもてなし”

ミャンマーでは、去る7月、遺跡の町パガンがユネスコ世界遺産に登録されました。このパガンをはじめ、ミャンマーには黄金のパゴダ(仏塔)が無数にあり、国民は仏教への信仰が厚いことで知られます。外国人に優しく、「おもてなし」精神が豊富なところに日本人との共通点も多いと言われます。近年は日本企業の進出も進み、日本語を学ぶ人が急増しています。また、日本人の勤勉さ、安全な社会環境の評判が高く、日本に留学したいと思う人が増えています。

“アジア最後のフロンティア”とも言われるミャンマー。日本人と日本語が大好きという親日派が多いミャンマーについて理解を深めることができるこの講座へ、皆様方のご参加を心よりお待ちしております!

講師：ナン ミヤ ケー カイン 氏
東京外国語大学 非常勤講師



立命館大学国際関係博士号取得。最近の研究テーマは「ミャンマー人の出稼ぎ労働者」等。東京外国語大学で約15年間「開発経済学と地域研究」について講義する。共著に『ミャンマーを知るための60章』(明石書店、2013年)等。ミャンマー人留学生への支援を精力的に行い、在ヤングンの「ミヤ日本語学校」代表責任者も務める。第二の故郷である日本と母国ミャンマーの架け橋として教育分野の様々な活動に取り組んでいる。

【場所】

(公財)とやま国際センター研修室 A
930-0856 富山市牛島新町 5-5
インテックビル 4階

【参加費】
無料

【定員】

40名

【申込締切】

10月15日(火)

【申込・お問合せ】

(公財)とやま国際センター

TEL 076-444-2500
FAX 076-444-2600

tic@tic-toyama.or.jp

住所、氏名、電話番号を明記の上、お申し込みください。

【主催】(公財)とやま国際センター

【後援】富山県